

東日本大震災復興支援

第13回寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2025年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第20回 明治神宮外苑大学クリテリウム

The 13rd Prince Tomohito Memorial World Grand prix - Road Race Round

UNIVERSITY STUDENT CYCLE ROAD RACE CUP SERIES - FINAL ROUND
MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM



大会概要書 OUTLINE OF THE EVENT ver.1.0 2025.11.05

日 程/Date

2026年3月8日 (日)

8th MAR. 2026

会 場/Venue

明治神宮外苑外周コース

Meiji Jingu Gaien Public Road Circuit

周 長/Lap

1周1.35km

1.35km per lap

主 催/Organizer

日本学生自転車競技連盟

Japan Intercollegiate Cycling Federation

後 援/Supporters

新宿区

Shinjuku Board of Education

公益財団法人日本自転車競技連盟

Japan Cycling Federation

会場警備/Traffic security

株式会社シミズオクト

Shimizu Octo Inc.

協 力/Cooperation

明治神宮外苑

Meiji Jingu Gaien

東京都自転車競技連盟

Tokyo Cycling Federation

協 賛/Sponsors

井上ゴム工業株式会社

IRC TIRE

株式会社イノアックコーポレーション

INOAC Corporation

株式会社日直商会

Nichinao Shokai

株式会社パールイズミ

株式会社オージーケーカブト

一般社団法人 日本自転車普及協会

株式会社ユニバーサル・ファイナンシャル (いずれも予定・順不同)

明治神宮外苑大学クリテリウムの特徴

☆ 唯一の東京都心開催クリテリウム

2007年の日本学生自転車競技連盟創立70周年事業としての開催以来の歴史をもつ、貴重な都市型自転車競技大会。青少年スポーツのメッカ、明治神宮外苑に華をそえる、昨今の都市型スポーツ活性化の時代的変遷に沿ったイベントです。

☆ 参加チーム・主催連盟・イベントスペシャリスト一体の運営体制

参加校からのチームスタッフ・ボランティア、競技連盟審判団、警備・舞台設営専門会社スタッフが一体となった運営体制で実施します。

安全走行にむけた諸対策

近年の自転車ロードレース中の事故発生をうけ、諸対策を実施しているところですが、本大会においては、とりわけ下記のような対策を実施予定です。

- ・競技参加に先立ち、安全研修会（実地形式）の受講を義務づける（少なくとも1回）。
- ・競技参加に先立ち、安全講習会（座学形式）の受講を義務づける（少なくとも2回）。
- ・スタート時人数の少数化　スタート時人数を少なめに設定します。
参加希望者多数の場合、安全研修会・講習会への参加実績を考慮して参加者を決定します。
- ・高速化抑制への試みとして、ギア比制限を設けます。
(トップギア時のペダル1回転あたり前進距離10.3m以内、通常700cで53*11迄に相当)
- ・潜在的危険性の予知・告知への傾注
(事前ミーティングでの留意事項説明、現場での注意喚起、セフティマネージャーをおいた運営など)

これら一連の対策に関連して、男子グループ3・2は参加制限がありますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

感染拡大リスク防止にむけた諸対策

☆ 比較的感染リスクの少ない屋外開放空間型イベント

新型コロナウィルスの感染に対する懸念は低下傾向ですが、他の感染症の懸念もあります。

当大会は比較的感染拡大リスクが小さいとされる屋外開放空間型のイベントです。

☆ インターネット動画配信による中継実施

インターネット中継も実施し、来場者数が過大とならない措置を講じます。

3月5日（木） 5th MAR. Thursday

20:00	チーム代表者・供出立哨役員チーム責任者打合/Team manager & Marshalls meeting	
21:00	設営・競技役員打合/Commissaires meeting	

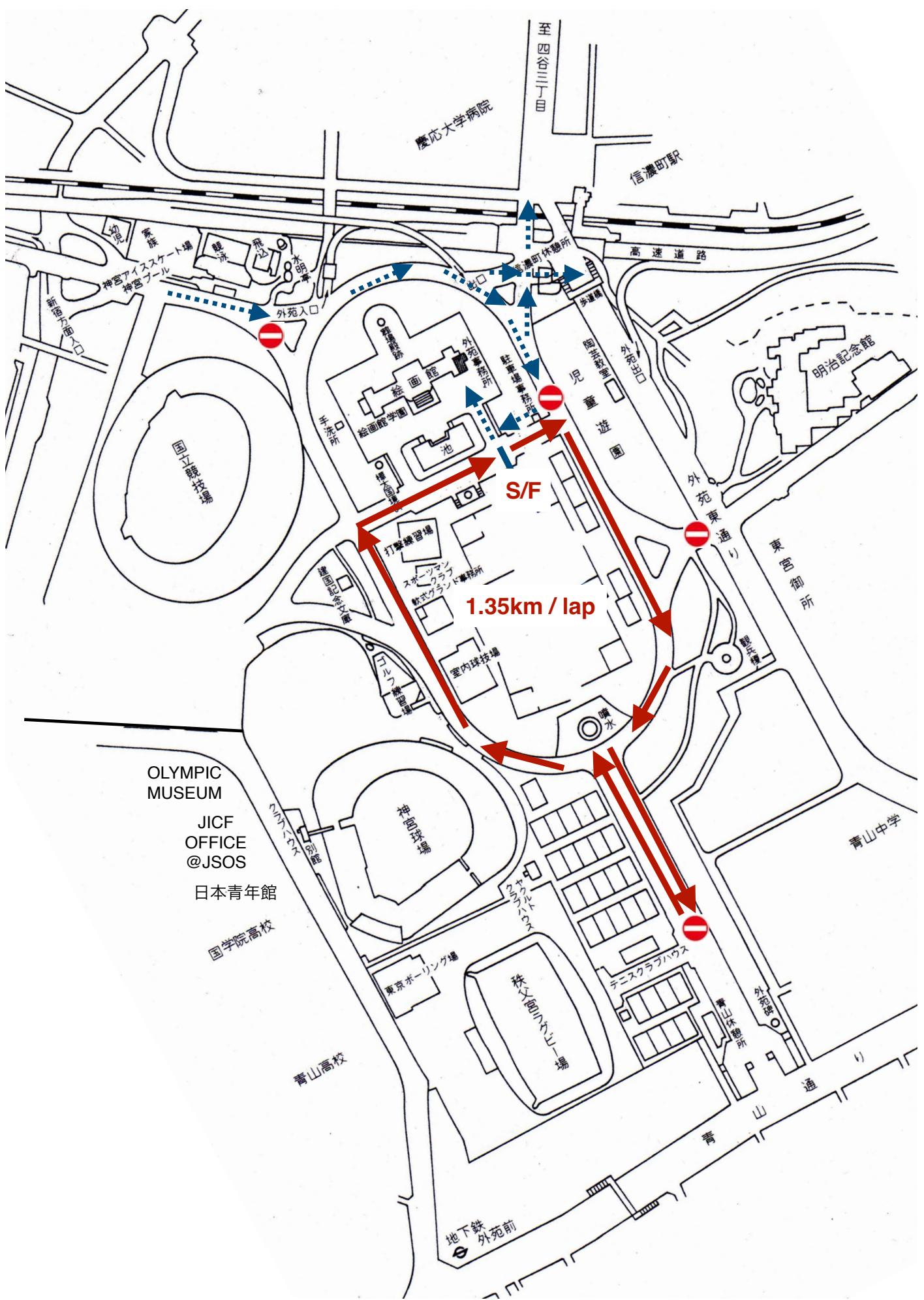
3月7日（土） 7th MAR. SATURDAY

14:30-17:00	第16回大学自転車競技フォーラム東京 University Cycling Forum TOKYO #16 新宿区霞ヶ丘町ジャパンスポーツオリンピックスクエア会議室	
	都市型クリテリウムの行く末（仮題）	

3月8日（日） 8th MAR. SUNDAY

6:30	会場設営開始/Course installation	
8:30	競技役員・立哨役員集合打合/Commissaires & Marshalls meeting	
9:00	交通規制開始/ Public traffic control start	
09:30 - 10:30	参加選手受付・ゼッケン配布 /Body Number distribution	
10:00	メディアミーティング/ Media meeting	
11:10	オープン&ウォームアップ・ライド /Open & Warm-up Ride	1.35km×5laps=6.75km
11:35	男子大学生 グループ3 /Students Men Group-3	1.35km×5laps=6.75km
12:00	タイムトライアル(小・中学生、パラサイクリング) TIME TRIAL (Kids, Paracycling)	1.35km×1 lap=1.35km
12:20	開会式・表彰式 (午前の部) Opening& Awards Ceremony	
	立哨員昼食(コース閉鎖) Lunch break / circuit close 試走不可	
13:10	男子大学生 グループ2 /Students Men Group-2	1.35km×9laps=12.15km
13:50	女子 (学連登記選手+JCF登録競技者) /Women (JICF + JCF)	1.35km×9laps=12.15km
14:20	男子大学生 グループ1 (大学対抗) Students Men Group-1 (University Team Match)	1.35km×23laps=31.05km
15:00	20回記念セレモニー	
	表彰式・閉会式 (午後の部、大学対抗、シリーズ総合) Awards & Closing Ceremony	

17:00 規制解除（予定：早まる場合があります）/End of Public traffic control



テクニカル・ガイド

v20250216

大会日程	2026年3月8日（日）	(雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
会 場	明治神宮外苑周回コース 1周 1.35km	(東京都新宿区・港区)
大会主旨	本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。	
		本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメカ力である神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することを目指す。
主催・主管	日本学生自転車競技連盟	
後 援	新宿区 公益財団法人日本自転車競技連盟	
会場警備	株式会社シミズオクト	
協 力	明治神宮外苑 東京都自転車競技連盟	
協 賛	井上ゴム工業株式会社 株式会社日直商会 株式会社オージーケーカブト 株式会社ユニバーサル・ファイナンシャル(いずれも予定・順不同)	株式会社イノアックコーポレーション 株式会社パールイズミ 一般社団法人日本自転車普及協会
競技規則	国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。	

競技種目および参加資格

I 会場入場者全員共通事項

1-1 本連盟各種ガイドラインを順守し、その遂行に協力し委員・役員の指示に従うことを参加条件とする。ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、熟慮のうえ参加可否を判断すること。

II 小中学生、オープンライド以外の種目の参加資格共通事項

2-1 当該年に有効なJCF（公益財団法人日本自転車競技連盟）又はUCI加盟国連盟の登録競技者である事

2-2 (4-1.~4-4.参加資格共通事項)

本連盟加盟校の登記選手で、**エントリー時点において**、大会当日を含む年度もおよびその前年度中に下記の研修を受講済みの者

- ・本連盟主催もしくは認定の座学系研修会(リモート講習含む)を少なくとも2回

うち1回以上がアンチドーピング講習であること

- ・本連盟主催もしくは認定の実地系研修会(リアル参加実技)を少なくとも1回

両方とも受講していることを参加の必須条件とする。

本大会では、大会当日にセーフティライド実地系研修会を実施しない。

スタート後に未受講が明らかになった場合には失格とし、そのレースの順位を与えない。

参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込締切後、本大会迄の大会においてクラス3からクラス2に昇格したものは、グループ3で出走することができない。

なお、女子クリテリウムについては本連盟加盟校の登記選手以外の参加も認めるが、研修会・講習会についての要件をみたすこと。

III 定員を上回った場合の措置

各カテゴリーの人数上限を上回る申込みがあった場合、上記研修会参加状況を勘案して参加者を決定する。

実地系研修会を1回2点、座学系講習会を1回1点として、直近2年度内ポイント合計による。

上記ポイントは、エントリー提出時点で獲得済のもののみがカウントされる。

IV 各カテゴリ毎の参加資格要件

4-1 大学生男子大学対抗（グループ1） 23周約31km 概ね70名以内

- ・本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。
- ・日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。
- ・本連盟が招聘したチーム（海外チーム等）、1チームあたり2名から3名までの選手。
- ・グループ1申込者に正当理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。
- ・グループ1の参加者は1名のみ、グループ2の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を提出すること。
- ・選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。
- ・選手交代届は、あらかじめ学連HP上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。
- ・2名未満のチームは参加することはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認めることがある。

4-2 大学生男子グループ2 9周12km 概ね60名以内（60名*1組）

本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。

4-3 3.大学生男子グループ3 5周7km 概ね60名以内（60名*1組）

本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。

4-4 女子クリテリウム 9周12km

日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。

4-5 小・中学生タイムトライアル 1周1.35km

小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット＆グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。

4-6 パラサイクリング・タイムトライアル 1周1.53km

本年度日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者（男女）

4-7 オープン＆ウォームアップ・ライド（レースではありません） 5周7km

ヘルメット＆グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。

および上記各カテゴリに参加するすべての者。

V 立哨役員・競技役員、テントの供出

日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	東京および隣接県の学校	供出立哨役員数	
		本州以外の学校	左記以外の学校
1	0	0	0
2	1	0	0
3	2	0	1
4	2	0	1
5	3	0	2
6	4	1	2
7～	選手数の2/3	選手数の1/5、 いずれの場合も小数点以下は切り上げ	選手数の1/3

立哨役員は、コース上の指定された箇所（合計約100カ所）に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している、当年3月31日時点でも満18歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

供出役員数が2名以上のチームにおいては、そのうち少なくとも1名は公認審判員資格保持者である事。

供出役員数が3名以上のチームにおいては、そのうち少なくとも1名は第2級公認審判員資格保持者である事。

大会本部用テントの供出

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。

持参しない場合は1万円のペナルティーを課す。

VI 使用できる自転車器材

小・中学生は特に制限しない。他のカテゴリはUCI規則および日本学生自転車競技連盟の規定を順守すること。（特別規則参照のこと）

参加申込	申込期限	1月27日(火)13：00迄
		・ 2023jicf.rccs.entry@gmail.com 宛に所定様式のEXCELシート提出、ライセンスデータ添付 ・かつ 別途google formに記入返信のこと：後日発表 ・グループ1は同一期限内にユニフォーム・データ（半袖上半身）も送付すること。 同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、 ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと
	支払期限	2月3日(火)13：00迄 参加可否を確認後に下記宛振込
		振り込み先：長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟 支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。 申込後の欠場については、感染対策に鑑みペナルティは課さないが、事前に連絡すること。
	参加料	男子大学対抗グループ1 1チーム 7万円、 その他のカテゴリは本連盟登記大学生 10,000円 小・中学生1000円（新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は500円） 女子オープン 15,000円、 パラ・タイムトライアル 15,000円、 オープン＆ウォームアップ・ライドのみの参加者は3,000円とする。 参加料には、駐車料金は含まれない。
	プログラム広告掲載	・グループ1 参加チームは、プログラム広告(A4版の1/3)を出す事ができる。
		広告原稿締め切り日は1月28日、締切に間に合わない原稿は掲載されない。 広告データの作成の注意点：データの仕上がり寸法：仕上がり（高さ80mm×左右170mm）、 データの作成アプリケーションと保存方法について PDF/X-1a : 2001形式（Acrobat 4 : PDF 1.3）で保存したPDFデータをお願いします。 X-1a形式であるかどうかの確認方法は、PDFを開いて、ファイルからプロパティを選び、 カスタムのタブを選ぶと、値のところにPDF/X-1a2001と記載されています。 X-1a形式であれば印刷用のデータとなります。 もしくはJPEG形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、 写真やリンクデータは埋め込み、CS 6以前のデータで保存してください。 イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるため、 なるべく、X-1aの形式で保存したPDFでご入稿いただくようよろしくお願い申し上げます。
	チーム責任者の届出	男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、チーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が諸規則・ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底しなければならない。また、怪我人が出た場合の自チームによる病院への搬送や救急車への同乗に備えた要員を確保しなければならない。
	事前チーム代表者会議	2026年3月5日（木）20時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。
		チーム責任者は出席のこと。会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に後日連絡する。
大会本部		聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント 開設時間 08:00-17:00 電話：090-2207-2369
	ライセンス確認および出走者確定・選手受付	大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙提出時に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。 (小・中学生、オープン＆ウォームアップ・ライドは大会申込を以て臨時登録者として扱う) 本部にて、9:30-10:30の間にゼッケンを受取ること。
事故措置	1.競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。 2.各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。 3.各選手は、健康保険証を必ず持参すること。 4.本大会において主催者の加入する傷害保険は死亡時1,000万円、入院・通院の保障は無い。	
肖像権	本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。	
取材申請	メディア関係者が来場される場合、当連盟HPより取材申請書を入手し、大会開催2日前の20時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、ご協力いただくことを原則とします。状況により来場をお断りする場合もありますのでご理解ください。	
司法管轄	本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続を含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したとみなす。	

特 別 規 則

第1条 (安全配慮義務)

参加選手・チーム関係者は、競技規則・諸ガイドラインを順守し、よく整備された自転車で参加すること。

第2条 (チーム代表者会議)

参加チーム代表者は、大会日程・時程表に示された日時に会議（リモート形式）に参加すること。

第3条 (個人順位)

(クリテリウム 男子グループ1、グループ2、女子)

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

(クリテリウム 男子グループ3)

テンポレース方式で行う。毎周回にフィニッシュラインを先頭で通過した者に1点を与える。最終回も同様。

得点の多いものを優位とし、同点の場合は最終周回着順による。周回獲得者には20点を与える。

(タイムトライアル)

完走タイムにより順位付けを行う。

第4条 (周回獲得、遅れ)

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。

原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。

認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセールの判断による。

競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第5条 (ニュートラリゼーションおよび技術支援)

認められる事故の場合、グループ1は最後の10周、グループ2・女子・は4周、グループ3は2周を除き、1周のニュートラリゼーションが認められる。

器材修理は、指定されたピット（S/F地点および銀杏通りUターン部）においてのみ認められる。

第6条 (中間スプリント賞)

男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。

また、女子については4周回終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第7条 (大学対校順位)

大学生男子グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。

順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第8条 (RCSランキング)

本連盟「大会参加基準」に示されたRCSランキングポイント表注記に基づき他のラウンドの倍得点が付与される
グループ1出走者にはクラス1の、グループ2出走者にはクラス2のRCSランキングポイントを付与する。

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/04/2023_taikaisankakijun.pdf

第9条 (飲食料補給)

飲食料の補給は認めない。

第10条 (自転車およびギア比)

UCI規則および明確化ガイドを順守のこと。ブレーキレバーの取付角度にも注意のこと。

<https://jcf.or.jp/download/rccx競技のブレーキレバー取付け角度の制限/?wpdmdl=76190&refresh=65ddfea0c84f21709047456>

日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程を順守のこと

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/05/gakuren_annai20230405.pdf

公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

クリテリウムにおけるトップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。（通常700cで53*11迄に相当）

タイムトライアルのユースのギア比はJCF規則による。

本条項は小中学生タイムトライアル・オープンライドには適用しない。

第11条 (無線装置)

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第12条 (賞典)

オープン＆ウォームアップ・ライド

参加者全員に参加賞（表彰式はありません）

小中学生タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）

マスターズ、パラ・タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）

以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3 優勝者：賞状・賞品、第2-8位：賞状。

大学対校順位 優勝校：賞状・賞品、第2-8位：賞状。

全日本学生ロードレースカップシリーズ年度総合表彰 年間総合リーダー：リーダージャージ、優勝杯、賞品

大学生男子グループ3各組上位5%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組

ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。

第13条 (環境保護)

ボトル、食料の残り・包装等、固体物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固体物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティを科す。

第14条（ドーピング・コントロール）

1. 全ての競技会は、ドーピング・コントロール対象大会となる可能性があります。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html> からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト <http://www.playtruejapan.org> にて確認して下さい。

誓 約 書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI（国際自転車競技連合）・JCF（日本自転車競技連盟）規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。（UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.（4））
- 2 大会（競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む）における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。（JCF規則第5条2.（9）準用）
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。（UCI規則1.1.078）
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。（UCI規則1.1.079）
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
- 6 彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI規則1.1.080）
- 7 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサー連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穩健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI規則1.2.079）
- 8 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI規則1.2.081）
- 9 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI規則1.2.082）
- 10 本大会への参加に関連して生じる競技結果・ペナルティなどに関して、本連盟ウェブサイト等において氏名・所属チーム等が公表されることを予め承諾する。

注意：大会要項等は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを隨時チェックすること。

問い合わせ先：(問い合わせはチーム責任者からのみ受付ます。選手個人個人からのお問合せはご遠慮ください)

日本学生自転車競技連盟 電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp (エントリ提出は上述参照)

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

ホームページ：<https://jicf.info> 電話・ファクシミリ 03-6804-2329

(電話は原則として毎週水曜19時～21時の間のみの対応となります。本連盟へのお問い合わせは電子mailにて御願いいたします)

チーム広告について

グループ1大学対抗にエントリーしているチームは
プログラムに広告掲出をることができます
広告料はグループ1エントリー料に含まれます
プログラムのサイズはA4版の1/3です
原稿サイズ：高さ8CM×幅17CM
データ形式：PDF、JPEG、イラストレータのいずれか
原稿提出期限：**1月28日**

広告例：**学連大学自転車部 新入部員募集**

部長：XXXXX
監督：XXXXX
主将：XXXXX
連絡先：XXXXXXXXXXXXXX

個人広告について

一口 2千円 なるべく複数口御願いいたします。
氏名のみプログラムに表示させていただきます。

お申し込み期限：**1月27日**

お名前を電子メールで下記までお送りください。

arai-sho@knd.biglobe.ne.jp

入金先：三菱UFJ銀行（銀行コード0005）

渋谷支店（支店コード135）

普通預金0157344

口座名 日本学生自転車競技連盟 代表 倉田達樹
ニホンガクセイジテンシヤキヨウギレンメイ ダイヒョウ クラタタツキ